

第 13 章 防災の概況

防災対策の推進

1. 災害対策

- (1) 総合防災訓練の実施 ※概要は125頁参照
- (2) 気象情報等の収集・伝達

富山地方気象台発表の気象警報・注意報、気象情報（大雨に関する情報、台風に関する情報等）のほか、長期予報、隣接県の気象警報・注意報、地震、津波、火山に関する情報を、県総合防災情報システム等を通じて、市町村、消防機関及び県関係機関に伝達し、防災体制に万全を期した。

- (3) 総合防災情報システムの運用

県、市町村、消防本部等との間で、防災関係情報や災害時における情報を迅速かつ的確に収集・伝達・共有する総合防災情報システムを運用している。

- (4) 市町村防災担当課長会議

市町村との情報の共有、連携の強化を図るため、防災担当課長会議を開催した。

・期日及び場所等

令和6年6月5日 富山県防災危機管理センター 3階研修室3-A

令和6年12月13日 WEB会議

- (5) 富山県物資拠点運営・輸送マニュアル

平成31年3月に策定した「県災害時受援計画」においては、災害時に国からの救援物資を受け入れるため、県物資拠点をリスト化しており、これら物資拠点の収容能力や運用上の課題等を分析・整理した物資拠点運営・輸送マニュアルを整備した。計画・マニュアルの実効性を高めるため、令和2年12月、令和3年12月に県物資拠点活用訓練を実施した。

2. 石油コンビナート災害対策

石油コンビナート等災害防止法により指定された特別防災区域の災害防止について、あらかじめ定めた事項により、総合的な防災対策の整備強化を図った。

- ・石油コンビナート等総合防災訓練の実施 ※概要は129頁参照
- ・特別防災区域への泡消火薬剤の配備

3. 震災対策

- (1) 令和6年度防災気象講演会

県民及び防災関係機関の担当者等を対象に、次のとおり開催した。

ア 日 時 令和6年12月7日 13時30分～16時30分

イ 場 所 富山県防災危機管理センター 3階研修室

ウ 講演内容及び講師

『富山県の気象と大地震・津波への天気予報を活用した防災』

講師 気象予報士・減災コンサルタント 饒村 曜氏

『富山で想定される大地震と津波の特徴、備えについて』

講師 東京大学 地震研究所 所長 古村 孝志氏

エ 参加者
86名(内訳：県職員 6名、市町村職員 1名、消防職員 3名、地域住民 76人)

(2) 自主防災組織リーダー研修会

ア 日時・場所・参加者数

令和6年7月27日 10時00分～15時00分 富山県防災危機管理センター 3階研修室 (主会場) 105名 (リモート)

87名

イ 講演内容及び講師

『地区防災計画について』

講師 神戸大学 名誉教授 室崎 益輝氏

『みんなでつくる地区防災計画』

講師 神戸大学 名誉教授 室崎 益輝氏

ウ 対象者

自主防災組織のリーダー、県職員・市職員

(3) 地域防災力向上支援事業

災害による被害を最小限に抑えるために不可欠な地域住民の「自助」及び「共助」による地域防災力向上のため、市町村が実施する自主防災組織の資機材整備の促進に関する事業や活動活性化に向けた取組に関する事業、地区防災計画の策定促進に向けた事業に対し、補助金を交付するもの

ア 自主防災組織資機材整備事業

自主防災組織の防災資機材等の整備に要する経費に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単1/2 (1 自主防災組織あたり150千円を限度に補助)

※ただし、資機材整備を通じた活動強化計画を策定する場合は300千円)

富山市27組織、高岡市5組織、魚津市2組織、滑川市4組織、黒部市11組織、砺波市7組織

南砺市7組織、立山町1組織、入善町1組織

富山市8組織、高岡市3組織、魚津市3組織、砺波市9組織、南砺市3組織

イ 自主防災組織研修・訓練等促進事業

自主防災組織が実施する研修・訓練等に要する経費に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単1/2 (1 自主防災組織あたり100千円を限度に補助)

氷見市5組織、立山町1組織

ウ 地区防災計画策定促進事業

自主防災組織等が地区防災計画の策定に要する経費に対し、市町村が負担又は補助する経費の一部を助成

県単1/2 (1 自主防災組織あたり100千円を限度に補助)

黒部市1組織、砺波市3組織、立山町1組織

4. 雪害対策

(1) 降積雪情報の収集・提供

令和6年4月1日から同30日まで及び令和6年11月1日から翌年3月31日までの間、県内42地点の降積雪等気象観測、また令和6年12月1日から翌年3月15日までの間、15地点の降積雪実況値の収集等を行い、防災関係機関や報道機関等へ情報を提供したほか、令和5年度冬期の降積雪・気温観測の結果分析・資料整備を行った。

(2) 富山県雪害・道路除雪対策会議の開催

降積雪期を前に、関係機関の出席を得て、交通の確保、生活関連施設における対策等について情報の共有を図った。

・期日及び場所等 令和6年11月7日 富山県防災危機管理センター及びWEB会議

5. 原子力災害対策

(1) 地域防災計画の策定及び改定

・平成19年10月から、富山県防災会議で専門部会を設け、原子力災害対策について審議し、国との最終協議を終え、平成21年1月に地域防災計画事故災害編の原子力災害対策を策定。

・平成23年3月の東京電力福島第一原発事故を踏まえ、同年6月より県防災会議及び原子力災害対策部会を開催し、原子力災害対策に関する地域防災計画の改定について議論を重ね、平成25年4月に地域防災計画（原子力災害編）を策定。

・また、国の原子力災害対策指針や防災基本計画の改定等を踏まえ、地域防災計画（原子力災害編）の修正を行うとともに、平成26年5月に避難計画要綱の策定（令和2年3月修正）、平成27年6月に緊急時モニタリング計画の策定を行った。

【富山県防災会議 原子力対策部会】

・平成31年3月26日 富山県民会館

(2) 原子力防災対策

平成24年度から、原子力防災資機材の整備や原子力防災訓練の実施等の防災対策に取り組んでいる。原子力防災訓練においては、原子力防災業務関係者の防災技能の向上と住民の防災意識の高揚を図り、原子力災害の対応体制を検証した。

【原子力防災訓練】

・期日 令和6年11月24日（日）

・場所 富山県防災危機管理センター、氷見市役所、石川県志賀オフサイトセンター、氷見運動公園、旧速川小学校、旧久目小学校、西の杜学園、鶴坂公民館 等

・参加者 60機関、約630人

・概要 志賀原発で、放射性物質が放出される事故の発生を想定
富山県防災危機管理センターにおいて大型マルチディスプレイや映像情報システムを活用した図上訓練、避難退域時検査の受援訓練、
自宅が全壊したことを想定した一時集合場所での屋内退避訓練、
災害時応援協定に基づくバス・タクシーによる避難支援、
安定ヨウ素剤の配布手順確認、県東部への広域避難の実施訓練、デジタル技術を活用した住民広報・情報共有の促進、緊急時モニタリングの実施訓練、 等

令和6年度富山県総合防災訓練の実施

1 目的

災害対策基本法第48条に基づき、県、黒部市、入善町及び朝日町が、国土交通省北陸地方整備局、自衛隊等国の機関をはじめ、防災関係機関、関係市町村、自治会・自主防災組織、民間企業、ボランティア団体、地域住民等とも密接に連携をとりながら、大規模地震災害等の各種災害を想定した実践的かつ広域的な災害応急活動等の防災訓練を実施し、防災計画等の円滑な運用に資するとともに、防災意識の普及啓発を図ることを目的とする。

2 実施期日

令和6年9月29日（日）

3 主催者

富山県、黒部市、入善町、朝日町、新川地域消防組合消防本部

4 訓練想定

- 令和6年9月29日H時、魚津断層帯を震源とするマグニチュード7.3の地震が発生
- 魚津市・黒部市で震度7、入善町で震度6強、朝日町で震度5強を観測。大津波警報を発表
- 多数の家屋の倒壊、津波、火災、土砂災害、孤立集落が発生、インフラ等に甚大な被害
- 県東部の被害に加え、県西部の一部の地域においても、がけ崩れ、家屋倒壊等が発生
- 多数の負傷者が発生。道路も寸断されて患者の搬送が困難となり、物資の供給も停止

5 訓練会場及び訓練項目

○黒部市

黒部市総合公園（臨時災害放送局設置訓練、ヘリ離着陸訓練、啓発展示 他）
生地小学校・石田小学校・村椿公民館（住民避難訓練、避難所設営運営訓練、啓発展示 他）
黒部市役所、黒部市民病院 他（災害対策本部訓練、DMAT訓練、消防団によるパトロール 他）

○入善町

入善漁港（物料投下訓練、津波行方不明者捜索訓練）
上青小学校（住民避難訓練、避難所設営運営訓練、啓発展示 他）
その他周辺地区（入善警察署・消防団によるパトロール 他）

○朝日町

大平集落（孤立集落に対するドローンによる物資運搬訓練）
さみさと小学校（住民避難訓練、避難所設営運営訓練、啓発展示 他）
その他周辺地区（自主防災組織による安否確認訓練、災害対策本部情報伝達訓練 他）

○その他の会場

防災危機管理センター屋上ヘリポート・富山駐屯地ヘリポート（ヘリコプター離着陸訓練）
富山空港（航空機離着陸訓練）
伏木富山港左岸1号岸壁（海上自衛隊艦艇への燃料補給訓練）

6 訓練参加機関及び人員（順不同）

機 関 名	人 員
富山県	85
黒部市	250
入善町	236
朝日町	119
富山市	2
高岡市	2
魚津市	1
氷見市	2
滑川市	3
小矢部市	2
南砺市	3
上市町	1
立山町	3
新川地域消防組合	
黒部市消防団	45
入善町消防団	50
朝日町消防団	75
国土交通省北陸地方整備局北陸技術事務所	2
国土地理院北陸地方測量部	2
気象庁東京管区气象台富山地方气象台	4
海上保安庁第九管区海上保安本部伏木海上保安部	
陸上自衛隊第382施設中隊	
航空自衛隊第6航空団	3
航空自衛隊小松救難隊	9
航空自衛隊第1輸送航空隊	21
海上自衛隊舞鶴地方隊	45
自衛隊富山地方協力本部	8
富山県DMAT	
国立大学法人富山大学附属病院	4
富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院	4
富山市民病院	4
高岡市民病院	4
黒部市民病院	8
市立砺波総合病院	5
済生会富山病院	4
富山県立中央病院	6
公益社団法人富山県医師会	7
一般社団法人下新川郡医師会	2
一般社団法人魚津市医師会	1
一般社団法人滑川市医師会	5
公益社団法人富山県看護協会	5
公益社団法人富山県薬剤師会	6
富山県医薬品卸業協同組合	
公益社団法人富山県柔道整復師会	13
一般社団法人富山県歯科医師会	4
一般社団法人富山県歯科技工士会	1
一般社団法人富山県歯科衛生士会	1

富山県葬祭業協同組合	3	
一般社団法人全日本冠婚葬祭互助協会	3	
公益社団法人富山県獣医師会	4	
特定非営利活動法人ピース・アニマルズ・ホーム	3	
動物愛護推進員	2	
富山県社会福祉協議会	9	
黒部市社会福祉協議会	30	
入善町社会福祉協議会	5	
朝日町社会福祉協議会	10	
県民ボランティア総合支援センター	1	
富山障害フォーラム	50	
入善町身体障害者協会	10	
入善町手をつなぐ育成会	10	
日本赤十字社富山県支部		
赤十字奉仕団		
富山県無線赤十字奉仕団	}	
日本アマチュア無線連盟富山県支部		10
黒部アマチュア無線クラブ		
公益社団法人日本青年会議所富山ブロック協議会	4	
一般社団法人富山県社会福祉士会	5	
公益財団法人とやま国際センター	40	
富山県石油業協同組合	5	
一般社団法人富山県エルピーガス協会黒部支部	3	
公益社団法人富山県浄化槽協会	10	
特定非営利活動法人富山県防災士会	7	
一般社団法人富山県建築士事務所協会	2	
特定非営利活動法人富山県砂防ボランティア協会	2	
一般社団法人富山県警備業協会	5	
富山シティエフエム株式会社	}	
株式会社新川コミュニティ放送		6

西日本電信電話株式会社富山支店	3	
中日本高速道路株式会社金沢支社	2	
中日本ハイウェイ・メンテナンス北陸株式会社	2	
中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社	4	
北陸電力株式会社	1	
北陸電力送配電株式会社	5	
一般社団法人北陸電気管理技術者協会	5	
一般財団法人北陸電気保安協会	4	
一般社団法人富山県トラック協会	6	
日本通運株式会社	1	
トナミ運輸株式会社	1	
佐川急便株式会社	2	
富山県生活協同組合連合会	3	
株式会社レイパワー	3	
株式会社ODC オードック	11	
株式会社フルテック	4	
一般社団法人KUドローンマップ開拓機構	4	
D X アンテナ株式会社	1	
イオンリテール株式会社北陸信越カンパニー	5	
株式会社カワノ	1	
株式会社トヨタミ国内営業部名古屋支店	3	
大和ハウス工業株式会社	1	
一般社団法人地域活性化プロジェクト縁GIN	}	2
COMMON株式会社		
Uni-Voice事業企画株式会社	2	
全国共済農業協同組合連合会富山県本部	2	
黒部市農業協同組合女性部	20	
株式会社メディアトライ	1	
株式会社エスイーアイ	2	
株式会社アインファーマシーズ	6	
黒部市 地区住民・自主防災組織	550	
入善町 地区住民・自主防災組織	150	
朝日町 地区住民・自主防災組織	10,000	
合 計	12103	

令和6年度石油コンビナート等総合防災訓練実施計画

1. 目的

この訓練は、富山県石油コンビナート等防災計画に基づき、富山県石油コンビナート等防災本部が主唱し実施するもので、石油コンビナート等特別防災区域において予想される災害に対して、富山県、高岡市、伏木海上保安部及び防災関係機関等の参加のもとに総合的な訓練を実施し、災害応急活動の迅速、円滑化並びに、訓練参加機関相互の有機かつ効果的な協力体制を確立するとともに、防災意識の高揚と防災態勢の万全を図るものとする。

2. 訓練本部組織

訓練本部長（防災本部長）	富山県知事
訓練副本部長（現地防災本部長）	高岡市長、伏木海上保安部長
訓練本部員	訓練参加機関の長

3. 訓練参加機関

出光興産（株）伏木油槽所、富山県石油コンビナート等災害対策連絡協議会、伏木共同防災隊、伏木共同防災センター、富山県沿岸排出油等防除協議会、伏木石油基地消防相互応援協定連絡協議会、伏木海陸運送（株）、（有）北陸石油物流、東郷油槽（株）、北陸日本海油送（株）、上野輸送（株）、日本海ドラム（株）、伏木海上保安部、富山県警察高岡警察署、高岡市消防本部・高岡消防署・伏木消防署・戸出消防署・福岡消防署・氷見消防署・高岡市消防団・伏木分面団、射水市消防本部、高岡市、富山県

4. 訓練想定

《基本想定》

令和6年10月25日（金）13時30分頃、高岡断層（内陸部）を震源とする地震が発生し、高岡市で震度7を記録した。この地震による津波の発生する恐れはない。

（想定気象状況）

13時現在の気象状況は、西南西の風6m/s、気温24℃、湿度65%である。

【陸上訓練】

<想定1>

出光興産株式会社伏木油槽所の5002号タンク（油種想定ガソリン5,000k1）底板部及び側板下部に亀裂が生じガソリンが漏えいした。

また、防油堤の一部も亀裂破損したため危険な状況となり、直ちに避難指示が必要である。

<想定2>

流出油が拡大し、防油堤内に滞油、一部が防油堤外に流出した。

一方、応急活動中の自衛防災隊員2名が負傷した。

<想定3>

流出油事故の応急措置が完了し、再発防止の警戒中、余震により、5002号タンクから火災が発生しタンク上部の全面火災となった。

また、火災は風下の隣接タンクに延焼する恐れがあり、大規模な危険物火災に拡大する危険が生じた。

【海上訓練】

<想定>

伏木富山港伏木地区国分2岸壁でタンカーA丸が重油を荷役中、ローディングアーム取付部分が破損脱落し、大量の重油（5k1）が港内に流出した。

令和6（2024）年の気象概況

（1）北陸地方（新潟県・富山県・石川県・福井県）の季節ごとの天候経過

2024年は暖かい空気に覆われ気温の高い状態が続き、2023年に次ぐ記録的な暑さ・暖かさ

冬（2023年12月～2024年2月）は、2020年冬に次ぐ記録的な暖冬、多照、少雪

春（3月～5月）は、4月が記録的な高温となり高温

夏（6月～8月）は、かなりの高温。梅雨入りはかなり遅く、梅雨明けは遅く、梅雨の時期（6・7月）は多雨

秋（9月～11月）は、残暑厳しく、2年連続の記録的な高温、前線や低気圧の影響も受けやすく、かなりの多雨

12月は、冬型の気圧配置が続き、寒気の影響を受けやすく低温・かなりの寡照・かなりの多雨

2023年の春から続いたエルニーニョ現象は2024年春に終息

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したものです

◆冬（2023年12月～2024年2月）

12月後半に強い寒気の影響を受けた時期があったが、冬型の気圧配置は長続きせず、1月を中心として晴れた日が多く、2020年冬に次ぐ記録的な暖冬となり少雪となった。

◆春（3月～5月）

天気は数日の周期で変化したが、3月は低気圧や前線、通過後の寒気の影響を受けることが多く、4月の中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、また、暖かい空気に覆われやすく、5月の下旬後半は低気圧や前線の影響が続いた。

◆夏（6月～8月）

地球温暖化等による大気の全球的なかなりの高温により、暖かい空気に影響を受けた。梅雨前線の北上が遅く梅雨入りはかなり遅く、6月は高気圧に覆われることが多くなりかなりの多照、梅雨明けは遅く、7月は梅雨前線や湿った空気に影響を受けやすく多雨、8月はたびたび台風の影響を受けたが、まとまった降水とはならなかった。

◆秋（9月～11月）

9月・10月中心に偏西風が平年に比べ北に偏って流れた。9月は太平洋高気圧の張り出しが強く残暑厳しく、10月は寒気が日本に南下しにくく、共に月の平均気温は1946年の統計開始以降1位の記録的な高温となった。11月は寒気の影響が弱く、高気圧に覆われることが多く高温・多照となり、秋としても1946年の統計開始以降、1位の記録的な高温となった2023年秋の平均気温を更新した。一方、秋雨前線の影響を受けた時期には記録的な大雨が発生するところがあるなど、前線や低気圧の影響も受けやすく、かなりの多雨となった。

◆12月

冬型の気圧配置が続きやすく、曇りや雨の日が多く山沿いや山地中心に雪が降った。月の平均気温は低く、降水量はかなり多く、日照時間はかなり少なく、降雪量は少なかった。

◆2024年

2024年は、3月と12月は寒気の影響が強かったものの、そのほかの時期は暖かい空気に覆われて気温の高い状態が続き、2023年に次ぐ記録的な暑さ・暖かさとなった。また、停滞前線の影響を受けた時期には大雨となる所があったなどかなりの多雨となった。

◆台風の発生数

平年より多い26個(平年25.1個)で、日本への上陸数は2個(平年3.0個)、北陸地方への接近数は1個(平年2.8個)だった。
 ※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

(2) 富山県の月別概況

【1月】

上旬	高気圧に覆われて晴れや曇りの日がありましたが、低気圧や気圧の谷、上空の寒気の影響で変わりやすい天気となり、雨や雪、みぞれの日も多くありました。 富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間は多く、旬降水量は少なくなりました。
中旬	気圧配置の変化が早かったため、高気圧、前線の通過、冬型の気圧配置、湿った空気などの影響により、晴れ、雨、雪、曇りと短い周期で変化しました。 富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間は平年並、旬降水量は多くなりました。
下旬	冬型の気圧配置や寒気の影響で雪や雨の日が多くなり、23日から24日にかけては山間部を中心に大雪となりました。期間の終わりは高気圧に覆われて晴れた日もありました。 富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間は少なく、旬降水量は平年並となりました。
月平均気温	南砺高宮で平年に比べてかなり高くなった他は、平年に比べて高くなりました。
月降水量	朝日で平年に比べて多くなった他は、平年並か、平年に比べて少なくなりました。
月間日照時間	平年並か、平年に比べて多くなりました。

【2月】

上旬	<p>冬型の気圧配置や日本海及び南岸の低気圧の影響で、曇りや雨または雪の日が多くなりました。</p> <p>富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間及び旬降水量は平年並となりました。</p>
中旬	<p>高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、低気圧や前線、上空の寒気の影響により曇りや雨の日もありました。15日夜は低気圧や前線の影響で大雨となりました。</p> <p>富山の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間はかなり多く、旬降水量は平年並となりました。</p>
下旬	<p>本州の南岸を進んだ低気圧や前線、寒気や上空の気圧の谷の影響により、雨やみぞれの日が多くなりました。</p> <p>富山の旬平均気温は平年並、旬間日照時間はかなり少なく、旬降水量はかなり多くなりました。</p>
月平均気温	平年に比べてかなり高くなりました。
月降水量	五箇山で平年に比べて少なくなった他は、平年並か、平年に比べ多くなりました。
月間日照時間	平年並でした。

【3月】

上旬	<p>低気圧や寒気の影響で雨又は雪の日が多くなりました。</p> <p>富山の旬平均気温は低く、旬間日照時間は少なく、旬降水量は多くなりました。</p>
中旬	<p>高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、低気圧や前線、上空の寒気の影響により曇りや雨の日もありました。20日は西高東低の気圧配置により雪が降り、県内では積雪となったところがありました。</p> <p>富山の旬平均気温、旬間日照時間、旬降水量はいずれも平年並となりました。</p>
下旬	<p>高気圧に覆われた一方、気圧の谷や前線の影響を受けたため、天気変化が大きくなりました。また、期間には寒気の影響で積雪となった日や、低気圧の影響で大雨となった日がありました。</p> <p>富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間は少なく、旬降水量は多くなりました。</p>
月平均気温	平年並でした。
月降水量	宇奈月で平年並となった他は、平年に比べ多いか、かなり多くなりました。
月間日照時間	朝日で平年に比べかなり少なく、南砺高宮で平年並となった他は、平年に比べて少なくなりました。

【4月】

上旬	大陸から日本の南にのびた前線や前線上を通過した低気圧の影響により、曇りの日が多く、大雨となった日もありました。 富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間は平年並、旬降水量はかなり多くなりました。
中旬	高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、気圧の谷や湿った空気の影響により、曇りや雨となった日もありました。 富山の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間はかなり多く、旬降水量は平年並となりました。
下旬	低気圧や湿った空気の影響により曇りや雨となりましたが、中頃には高気圧に覆われて晴れた日がありました。 富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間と旬降水量はともに少なくなりました。
月平均気温	平年に比べかなり高くなりました。
月降水量	宇奈月で平年に比べ少なくなった他は、平年に比べ多いか、平年並となりました。
月間日照時間	平年に比べ多いか、平年並となりました。

【5月】

上旬	前半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、後半は気圧の谷や寒気、前線の通過により雨の降る日が多くなりました。 富山の旬平均気温は平年並、旬間日照時間は多く、旬降水量は平年並となりました。
中旬	高気圧に覆われ晴れた日もありましたが、低気圧ならびに前線の影響により、曇りや雨の日も多くありました。 富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間は平年並、旬降水量は多くなりました。
下旬	前半は高気圧に覆われて概ね晴れまたは曇りとなり、後半は低気圧と前線が北日本や日本の南岸を通過した影響で曇りまたは雨の日が多くなりました。28日は大雨になり、県内の複数の観測所で日降水量が5月としての観測史上1位を記録しました。 富山の旬平均気温は低く、旬間日照時間は少なく、旬降水量はかなり多くなりました。
月平均気温	南砺高宮で平年に比べ高くなった他は、平年並となりました。
月降水量	平年に比べ多いか、かなり多くなりました。
月間日照時間	平年並となりました。

【6月】

上旬	<p>高気圧に覆われて晴れた日もありますが、気圧の谷等の影響で曇りの日が多く、雨の降った日もありました。2日は低気圧や上空の寒気の影響で大雨となったところもありました。</p> <p>富山の旬平均気温は低く、旬間日照時間と旬降水量はともに平年並となりました。</p>
中旬	<p>高気圧に覆われて概ね晴れまたは曇りとなりましたが、期間の後半には低気圧や気圧の谷の影響で雨となった日もありました。</p> <p>富山の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間はかなり多く、旬降水量はかなり少なくなりました。</p>
下旬	<p>高気圧に覆われて晴れた日もありますが、上空の気圧の谷や湿った空気の影響で曇りの日が多くなりました。期間のはじめと終わりには低気圧や梅雨前線の影響で雨となり、大雨となった日もありました。なお、北陸地方は6月22日ごろに梅雨入りしたと見られます。平年より11日遅く、昨年より13日遅い梅雨入りとなりました。</p> <p>富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間と旬降水量はともに多くなりました。</p>
月平均気温	平年に比べかなり高くなりました。
月降水量	平年並か、平年に比べ少なくなりました。
月間日照時間	平年に比べかなり多くなりました。

【7月】

上旬	<p>梅雨前線や湿った空気の影響で雨や曇りの日が多くなりました。</p> <p>1日は梅雨前線の影響で大雨となったところもありました。</p> <p>富山の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間と旬降水量はともに平年並となりました。</p>
中旬	<p>梅雨前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりました。</p> <p>また、日によっては県内の所々で大雨となりました。</p> <p>富山の旬平均気温は平年並、旬間日照時間は平年並、旬降水量は多くなりました。</p>
下旬	<p>梅雨前線や湿った空気の影響で雨や曇りの日が多くなり大雨となった日もありますが、高気圧に覆われて晴れた日もありました。</p> <p>なお、北陸地方は7月31日ごろに梅雨明けしたとみられます。平年より8日遅く、昨年より10日遅い梅雨明けとなりました（確定値）。</p> <p>富山の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間は平年並、旬降水量は多くなりました。</p>
月平均気温	平年に比べかなり高くなりました。
月降水量	上市と立山芦峯で平年に比べかなり多く、富山と砺波で平年並となった他は、平年に比べ多くなりました。
月間日照時間	平年並となりました。

【8月】

上旬	高気圧に覆われて晴れの日が多くなりましたが、期間の中頃から気圧の谷や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、大雨となったところもありました。 富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間は多く、旬降水量は少なくなりました。
中旬	高気圧に緩やかに覆われたものの上空の気圧の谷や湿った空気の影響により、曇りや晴れで午後は雷雨の日が多くなりました。また、期間の後半には県内の所々で大雨となりました。 富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間は平年並、旬降水量はかなり少なくなりました。
下旬	高気圧に緩やかに覆われたものの上空の気圧の谷や湿った空気の影響により、曇りや晴れで午後は雷雨の日が多くなりました。また、25日は上市で日最大1時間降水量146.5ミリを記録し観測史上1位の値を更新するなど、大雨となった所がありました。 富山の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間は多く、旬降水量は少なくなりました。
月平均気温	平年に比べかなり高いか、高くなりました。
月降水量	上市で平年に比べ多く、魚津と五箇山で平年に比べかなり少なくなった他は、平年並か平年に比べ少なくなりました。
月間日照時間	富山で平年に比べ多くなった他は、平年並か平年に比べ少なくなりました。

【9月】

上旬	期間のはじめ頃は台風第10号から変わった熱帯低気圧や前線の影響を受けて概ね曇りや雨で、雷を伴った日がありました。2日は大雨となった所がありました。期間の中頃と終わり頃は、高気圧に覆われたため概ね晴れや曇りとなりましたが、前線や湿った空気の影響を受けて雨で雷を伴った所がありました。 富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間は平年並、旬降水量は少なくなりました。
中旬	前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、高気圧に覆われて晴れた日もありました。13日と15日は大雨となったところもありました。 富山の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間は平年並、旬降水量は多くなりました。
下旬	期間のはじめは北陸地方にのびる前線や低気圧の影響により大気の状態が非常に不安定となったため雨の日が多く、22日は大雨となった所がありました。以降は高気圧に覆われて晴れや曇りの日が多くなりましたが、期間の後半には本州の南岸を進んだ低気圧や湿った空気の影響を受けて雨の降った日もありました。 富山の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間と旬降水量はともに平年並となりました。
月平均気温	平年に比べかなり高くなりました。
月降水量	魚津と猪谷で平年に比べ多く、五箇山でかなり少なくなった他は、平年並か平年に比べ少なくなりました。
月間日照時間	平年並か平年に比べ多くなりました。

【10月】

上旬	<p>前線や湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多くなりました。4日と7日は大雨になったところもありました。 富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間は少なく、旬降水量は多くなりました。</p>
中旬	<p>高気圧に覆われ晴れた日が多くなりましたが、期間の中頃からは低気圧や前線の影響で曇りや雨となった日があり、19日は大雨になりました。 富山の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間は多く、旬降水量は平年並となりました。</p>
下旬	<p>高気圧に覆われ晴れた日もありましたが、低気圧や前線の影響により曇りや雨となった日が多く、大雨となった所もありました。また、23日は日本海で発達した低気圧の影響で南寄りの風が強まったためフェーン現象となり、上市、秋ヶ島、八尾、南砺高宮では真夏日となりました。 富山の旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間は少なく、旬降水量は多くなりました。</p>
月平均気温	平年に比べかなり高くなりました。
月降水量	立山芦峯と五箇山で平年並となった他は、平年に比べ多くなりました。
月間日照時間	平年に比べ少ないか、平年並になりました。

【11月】

上旬	<p>前線を伴った低気圧と高気圧が交互に通過して曇りや雨の日が多くなり、2日は大雨となりました。 後半は晴れた日が多くなりましたが、気圧の谷の影響により曇りで、雨となった所もありました。 富山の旬平均気温は平年並、旬間日照時間と旬降水量はともに多くなりました。</p>
中旬	<p>前半は高気圧に覆われて晴れた日が多いですが、後半は前線や寒気の影響で雨や曇りの日もあり、17日は大雨となった所もありました。 富山の旬平均気温は高く、旬間日照時間は多く、旬降水量はかなり少くなりました。</p>
下旬	<p>気圧の谷や湿った空気の影響で雨が降り、大雨となった日が多くなりました。また、26日は前線の影響により強風となった所がありました。 富山の旬平均気温は平年並、旬間日照時間は少なく、旬降水量はかなり多くなりました。</p>
月平均気温	朝日と秋ヶ島で平年並となった他は、平年に比べ高くなりました。
月降水量	平年に比べ多いか、かなり多くなりました。
月間日照時間	平年に比べ多いか、平年並になりました。

【12月】

上旬	<p>高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、次第に冬型の気圧配置となったため曇りや雨の日が多くなりました。6日は大雨となったところがありました。</p> <p>12月8日に初雪を観測しました。平年（12月3日）より5日遅く、昨年（12月17日）より9日早い観測となりました。</p> <p>富山の旬平均気温は平年並、旬間日照時間は少なく、旬降水量は多くなりました。</p>
中旬	<p>冬型の気圧配置が続いたため、曇り又は雨や雪となる日が多くなりました。13日から14日にかけてと18日には大雨となった所がありましたが、20日は高気圧に覆われて晴れました。12月12日に富山地方気象台で初霜と初氷を観測しました。</p> <p>初霜は、平年（11月25日）より17日遅く、昨年（11月21日）より21日遅い観測となりました。</p> <p>初氷は、平年（12月2日）より10日遅く、昨年（12月24日）より12日早い観測となりました。</p> <p>富山の旬平均気温は低く、旬間日照時間は平年並、旬降水量は多くなりました</p>
下旬	<p>冬型の気圧配置が続いたため雪の日が多くなりました。22日は大雪となった所もありました。</p> <p>なお、期間の中頃と終わりには、気圧の谷や前線の通過に伴い雨となった日や、高気圧に覆われて晴れた日もありました。</p> <p>富山の旬平均気温は低く、旬間日照時間はかなり少なく、旬降水量はかなり多くなりました。</p>
月平均気温	平年に比べ低くなりました。
月降水量	立山芦峯で平年並となった他は、平年に比べ多いか、かなり多くなりました。
月間日照時間	平年に比べかなり少ないか、少くなりました。

第2表 防災会議及び地域防災計画等の現況

(その1)

(令和7年4月1日現在)

区分 市町村名	防災会議(令和6年度)							防災会議の部会数										
	設 置 の 有 無	開 催 回 数	開 催 目 的					地 震	津 波	風 水 害	火 山 災 害	土 砂 災 害	雪 害	救 助	救 急 医 療	通 信 連 絡	原 子 力	そ の 他
			討 地 域 防 災 計 画 の 修 正 検 査	施 防 災 行 政 に 関 無 線 備 る 等	立 防 案 災 ・ 訓 練 討 の	組 防 織 災 ・ 会 運 議 営 の	そ の 他											
富山市	有	1	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高岡市	有	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚津市	有	2	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水見市	有	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滑川市	有	1	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒部市	有	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砺波市	有	1	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小矢部市	有	1	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南砺市	無	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
射水市	有	1	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
舟橋村	有	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上市町	有	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
立山町	有	1	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入善町	有	0	-	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日町	有	1	○	-	-	-	-	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		9	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第3表 防災・震災対策の状況

(その2) (令和7年4月1日現在)

区分 市町村名	災害対策本部等の設置回数 (令和6年)		災害対策基本法第56条の発動回数			災害対策基本法第60条の発動回数			災害対策基本法第63条の発動回数	災害対策基本法第64条の発動回数	災害対策基本法第65条の発動回数	左に係る 延従事者数	災害対策基本法第67条の発動回数	災害対策基本法第68条の発動回数	災害救助法適用回数
	災害対策基本法第23条に基づく災害対策本部	その他	高齢者等避難			避難指示									
			回数	世帯数	人数	回数	世帯数	人数							
富山市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
高岡市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚津市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
氷見市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
滑川市	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒部市	1	2	0	0	0	1	不明	3,339	0	0	0	0	0	0	1
砺波市	1	0	0	0	0	1	22	36	0	0	1	51	0	0	1
小矢部市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南砺市	0	0	1	240	644	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
射水市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
舟橋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上市町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
立山町	0	0	1	205	388	1	188	364	0	0	0	0	0	0	0
入善町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
計	5	2	2		1,032	3	210	3,739	0	0	1	51	0	0	6

第4表 防災・震災訓練の状況

(令和7年4月1日)

区分 市町村名	防災訓練														震災 総合訓練	震災 個別訓練	震災個別訓練の内容											
	訓練 回数	災害想定										訓練形態					職員 参集	情報 伝達	消 火	避 難 誘 導	救 急 救 助	給 食 給 水	応 急 物 資 搬 送	そ の 他				
		風 水 害	土 砂 災 害	地 震	津 波	コ ン ト ン 災 害	大 火 災	林 野 火 災	災 原 子 力 災 害	火 山 災 害	そ の 他	実 動 訓 練	図 上 訓 練	通 信 訓 練											そ の 他			
富山市	7	1	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	5	1	1	0	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
高岡市	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚津市	3	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	1	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
氷見市	4	1	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2	1	1	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
滑川市	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒部市	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
砺波市	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小矢部市	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
南砺市	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
射水市	1	1		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
舟橋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上市町	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	1	1	0	1	
立山町	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
入善町	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
朝日町	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	31	9	7	17	5	0	0	0	1	1	1	25	3	3	2	9	10	1	2	3	1	1	1	0	0	8		

第5表 住民への災害情報伝達手段の整備状況

(令和7年4月1日現在)

区分 市町村名	災害情報伝達手段（同報系システム）						登録 制メ ー ル	防自 災治 ア プ リ の	タ ー ゲ ッ ト （ ツ イ ッ ツ な ど）	H o t S p o t w i r e l e s s な ど	エ リ ア ワ ン セ グ	デ ジ タ ル サイ ネ ー ジ	ホ ー ム ペ ー ジ	広 報 車 な ど	そ の 他
	市町村防災行政無線 （同報系列）			MCA陸上移動通信 システム											
	有 遠 隔 制 御 機 無 の	局 屋 外 拡 声 装 置 数	屋 内 受 信 機 局 数	有 遠 隔 制 御 機 無 の	局 屋 外 拡 声 装 置 数	屋 内 受 信 機 局 数									
富山市	有	237	0	無	0	0	○	○	○	-	-	-	○	○	-
高岡市	有	118	74	無	0	0	○	○	○	-	-	-	○	○	○
魚津市	有	43	1,000	無	0	0	○	-	○	-	-	-	○	○	-
氷見市	有	132	1,500	有	98	918	○	-	○	○	-	-	○	○	-
滑川市	有	44	2,360	無	0	0	○	-	○	-	-	-	○	○	-
黒部市	有	64	8,534	無	0	0	○	-	○	-	-	○	○	○	-
砺波市	無	0	0	有	0	128	○	○	○	-	-	-	○	○	-
小矢部市	有	67	246	無	0	0	○	-	○	-	-	-	○	○	○
南砺市	有	110	367	無	0	0	○	○	○	○	-	-	○	○	-
射水市	有	113	250	無	0	0	○	-	○	-	-	○	○	○	-
舟橋村	無	0	0	無	0	0	○	-	-	-	-	-	○	○	-
上市町	有	74	41	無	0	0	○	-	○	-	-	-	○	○	-
立山町	有	63	135	無	0	0	○	-	○	-	-	-	○	○	-
入善町	有	23	6,029	無	0	0	○	-	○	-	-	-	○	○	○
朝日町	有	25	231	無	0	0	○	○	○	-	-	-	○	○	-
合計	13	1,113	20,767	2	98	1,046	15	5	14	2	0	2	15	15	3

第6表 防災無線通信施設等の状況

(令和7年4月1日現在)

区分 市町村名	防災無線に関する調査																	
	移動無線														維持費(千円)			
	基地局数	中継局数	形態別移動局数			設置場所別移動局数											保守契約費	その他
			車載型	可搬型	携帯型	役場等	公共施設	職員宅	指指定機地関方	消防機関	自主防災組織	警察機関	医療機関	その他				
富山市	1	0	49	206	34	243	0	0	0	17	0	5	4	20	26,345	0		
高岡市	0	0	0	25	3	20	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0		
魚津市	1	0	18	2	6	24	1	0	0	1	0	0	0	0	4,147	0		
氷見市	0	0	4	0	46	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
滑川市	1	0	0	2	10	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
黒部市	4	0	10	20	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	8,459	0		
砺波市	0	2	12	9	118	74	0	0	0	3	59	0	3	0	0	851		
小矢部市	0	0	2	6	4	9	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0		
南砺市	3	4	19	6	48	72	0	0	0	1	0	0	0	0	5,082	0		
射水市	1	0	26	0	150	48	102	0	0	0	0	0	0	0	5,149	0		
舟橋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
上市町	1	0	10	0	13	23	0	0	0	0	0	0	0	0	556	0		
立山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
入善町	3	0	19	0	2	21	0	0	0	0	0	0	0	0	240	0		
朝日町	1	1	5	2	12	17	0	0	0	0	0	0	0	2	256	187		
合計	16	7	174	278	446	615	105	0	0	33	59	5	7	22	50,234	1,038		

第7表 自主防災組織の現況

(その1)令和7年4月1日現在)

区分 市町村名	自主防災組織の組織数				構成員数	管内世帯数(A+B)	地域組織の世帯数(A)	組織率(A/B)	地域防災計画の有無	条例の有無	規約等を定める有無	消防署・消防団との関係			リーダーの育成指導研修										災害組織連合体の自主防災	
	町内会	小学校区	その他	計								主体					方法									
												消防本部・署	消防団	防炎町主村管課	警	その他	訓練	印刷物の配布	講演会・懇談会等	リーダー研修会	その他					
富山市	519	33	60	612	114,227	186,949	147,065	78.7%	有	無	無	○	-	○	○	○	-	○	○	○	○	○	-	無		
高岡市	538	32	6	576	8,964	71,070	69,863	98.3%	無	無	有	○	-	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	有		
魚津市	76	13	0	89	2,445	15,646	15,646	100.0%	有	無	無	○	-	-	○	-	-	-	○	○	○	○	-	有		
氷見市	22	0	0	22	2,200	17,410	17,410	100.0%	有	無	無	○	-	○	-	-	○	-	-	○	○	○	○	-	有	
滑川市	142	11	17	170	12,201	13,053	13,053	100.0%	有	無	有	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	無	
黒部市	116	0	2	118	16,029	16,029	16,029	100.0%	有	無	無	○	-	-	○	-	○	-	-	○	○	○	○	○	有	
砺波市	21	0	6	27	17,131	17,131	17,131	100.0%	有	無	無	○	-	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○	-	無	
小矢部市	171	0	19	190	22,696	10,700	10,700	100.0%	無	有	有	○	-	○	○	○	-	-	○	○	○	○	○	-	有	
南砺市	0	0	37	37	17,465	17,465	17,465	100.0%	有	無	無	○	○	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	有		
射水市	168	0	10	178	88,331	37,400	36,884	98.6%	有	無	無	○	○	○	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	無	
舟橋村	12	0	0	12	185	1,223	1,223	100.0%	有	無	無	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	無	
上市町	102	0	0	102	18,147	7,312	7,312	100.0%	有	無	無	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	有	
立山町	115	1	4	120	22,846	9,600	8,993	93.7%	有	無	無	○	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	無	
入善町	45	0	11	56	6,991	8,850	8,850	100.0%	有	無	無	-	-	○	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	有	
朝日町	77	0	10	87	1,772	4,514	4,316	95.6%	有	無	無	○	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	○	○	無	
合計	2,124	90	182	2,396	351,630	434,352	391,940	90.2%	13	1	2	2,070	13	4	10	9	6	13	1	5	12	11	12	11	4	6

第7表 自主防災組織の現況

(その2)(令和7年4月1日現在)

区分 市町村名	自主防災組織の活動状況												
	平常時の活動					災害時の活動							
	防災訓練	防災知識の啓発	活動地域内の防災巡視	三角バケツ、消火器等の頒布又は共同購入	その他	災害危険箇所等の巡視	情報の収集・伝達	初期消火	負傷者等の救出・救護	住民の避難誘導	給食給水	その他	
富山市	195	195	195	195	0	0	0	0	0	0	0	0	
高岡市	576	0	0	0	0	576	576	576	576	576	576	576	
魚津市	12	12	0	0	0	0	89	0	0	0	0	0	
氷見市	49	49	49	5	0	22	22	0	0	22	0	0	
滑川市	82	19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
黒部市	11	11	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
砺波市	27	27	27	0	0	0	27	27	27	27	27	27	
小矢部市	18	18	18	18	18	190	190	190	190	190	190	0	
南砺市	37	37	37	0	37	37	37	37	37	37	37	0	
射水市	178	178	178	178	178	0	0	0	0	0	0	0	
舟橋村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上市町	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	102	
立山町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
入善町	10	8	1	0	7	0	56	0	0	56	2	0	
朝日町	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	1,302	656	618	498	342	927	1,099	932	932	1,010	934	705	

第7表 自主防災組織の現況

(その3) (令和7年4月1日現在)

区分 市町村名	自主防災組織の活動状況												
	資機材の保有状況											可搬式動力ポンプ	
	消火器、三角バケツ等の初期消火用資機材	情報連絡用資機材		ジャッキ、パールの救助用資機材	テント、担架等の避難救出用資機材	土嚢用袋、かけや等の水防用資機材	救急医療用セット、ろ水器等の救護用資機材	ヘルメット、防火衣等の個人装備	ビデオ装置等の防災知識普及用資機材	台	数	組	織
富山市	370	370	370	370	370	370	370	370	370	370	16	16	
高岡市	8	0	0	0	0	0	0	62	0	0	0	0	
魚津市	51	2	43	25	45	26	25	49	0	11	6		
氷見市	20	8	20	18	21	14	19	21	0	5	5		
滑川市	118	29	33	27	41	2	30	41	2	18	18		
黒部市	118	8	118	118	106	118	26	118	1	2	2		
砺波市	27	27	27	27	27	27	27	27	4	14	14		
小矢部市	55	37	77	18	80	59	37	18	3	29	9		
南砺市	37	24	4	14	22	3	15	24	11	23	10		
射水市	75	11	60	93	87	47	86	94	0	32	32		
舟橋村	0	1	4	1	4	1	4	4	0	0	0		
上市町	26	0	29	14	31	8	16	52	3	2	2		
立山町	50	6	38	34	61	8	18	60	0	1	1		
入善町	19	0	18	18	18	18	18	18	0	18	18		
朝日町	86	44	69	85	86	7	69	86	0	0	0		
合計	1,060	567	910	862	999	700	760	1,044	394	171	133		

第8表 相互応援協定の状況

(令和7年4月1日現在)

区分 市町村名	市町村間の相互 応援協定の有無	うち他都道府県 の市町村が含ま れている協定の有無	民間機関等との相互応援協定の締結状況								郵便局との 相互応援協定の 有無
			放送協定	報道協定	救急救護協定	輸送協定	災害復旧協定	物資協定	その他		
富山市	有	有	○	-	○	○	○	○	○	○	有
高岡市	有	有	○	-	○	○	○	○	○	-	有
魚津市	有	有	○	-	○	○	○	○	○	-	有
氷見市	有	有	○	○	○	○	○	○	○	○	有
滑川市	有	有	-	-	-	○	-	-	○	○	有
黒部市	有	有	-	-	○	-	-	○	○	○	有
砺波市	有	有	○	-	○	○	○	○	○	-	有
小矢部市	有	有	○	-	○	○	○	○	○	○	有
南砺市	有	有	○	-	-	○	○	○	○	-	無
射水市	有	有	○	-	-	○	○	○	○	○	有
舟橋村	無	無	-	-	-	-	-	○	○	○	有
上市町	有	有	-	-	-	○	○	○	○	○	有
立山町	有	有	-	-	-	○	-	-	○	-	有
入善町	有	有	○	-	○	-	○	○	○	○	有
朝日町	有	有	-	-	-	○	○	○	○	-	有
合計	14	14	9	1	8	10	13	15	8	13	

第9表 指定緊急避難場所の指定状況

(令和7年4月1日現在)

区分 市町村名	指定 箇所 数	災害対策基本法第49条の4に基づく指定緊急避難場所									災害種別ごとの想定収容人数(複数回答可)									
		災害種別ごとの指定箇所数(複数回答可)									想 定 収 容 人 数	災害種別ごとの想定収容人数(複数回答可)								
		洪 水	流 崖 及 崩 び れ 、 地 滑 土 り 石	高 潮	地 震	津 波	大 規 模 な 火 事	内 水 氾 濫	火 山 現 象	洪 水		流 崖 及 崩 び れ 、 地 滑 土 り 石	高 潮	地 震	津 波	大 規 模 な 火 事	内 水 氾 濫	火 山 現 象		
富山市	318	275	160		216	26	216			90,506	81,816	84,696		90,506	4,760	90,506				
高岡市	165	122	38		147	13	7			366,200	152,960	29,950		356,820	5,380	195,090				
魚津市	56	33	13		33	12	49			25,823	25,823	7,892		25,823	11,306	14,700				
氷見市	227	174	68		164	59		172		242,673	73,261	59,376		241,568	80,778		71,308			
滑川市	54	38	52	54	53	53				168,835	114,502	158,285	168,835	168,635	161,335					
黒部市	75	63	64		62		75			50,757	47,763	46,727		44,935		50,757				
砺波市	36	9	12		36		15			497,783	49,632	117,686		497,783		454,277				
小矢部市	71	40	66		71		71	32												
南砺市	79	63	66		79		77	79		198,000	141,900	173,000		198,000		197,600	198,000			
射水市	100	53	6		79	58				176,029	95,046	4,123		158,886	66,923					
舟橋村																				
上市町	36	33	34		36		36			10,499	10,115	10,371		10,499		10,499				
立山町	34	25	33		34					80,460	65,260	77,560		80,460						
入善町	64	18	64	64	63	57	46			348,276	50,534	348,276	348,276	348,150	302,764	318,411				
朝日町	112	49	55	72	81	72				21,787	8,261	8,044	16,297	13,745	16,297					
合計	1,427	995	731	190	1,154	350	592	283	0	2,277,628	916,873	1,125,986	533,408	2,235,810	649,543	1,331,840	269,308	0		